

残留農薬検査(その3)

当所では、横浜市内に流通する農産物等の食品に残留する農薬の検査を行っています。平成25年度に検査項目の見直しを行い、農産物ごとに検査項目を設定しました。

今回は、平成28年9月及び10月に健康福祉局食品専門監視班及び各区福祉保健センターが収去した農産物等の検査結果を報告します。

1 市内産農産物

9月に搬入されたなす(3検体)、さつまいも、じゃがいも及びにがうり(各1検体)、10月に搬入されたこまつな(5検体)、さつまいも(4検体)、米(3検体)、さといも及びだいこんの根(各2検体)、かき、キャベツ、じゃがいも、なす、にんじん、葉だいこん及びブロッコリー(各1検体)の計29検体について検査を行いました。

検査の結果を表1に示しました。葉だいこん、ブロッコリー各1検体及びこまつな2検体から計3種類6項目の農薬が検出されました。しかし、残留農薬の基準値を超えるものはありませんでした。検査項目及び検出限界については表2に示しました。

2 国内産農産物

9月に搬入されただいこんの根(2検体)、キャベツ、きゅうり、トマト、にんじん及びレタス(各1検体)、10月に搬入されたキャベツ及びだいこんの根(各1検体)の計9検体について検査を行いました。

検査の結果を表1に示しました。きゅうり1検体及びキャベツ2検体から計5種類6項目の農薬が検出されました。しかし、残留農薬の基準値を超えるものはありませんでした。検査項目及び検出限界については表2に示しました。

3 野菜冷凍食品・冷凍果実

9月に搬入されたいちご及びほうれんそう(各1検体)の計2検体について検査を行いました。

検査の結果を表1に示しました。いちごからピフェントリンが0.01ppm、ほうれんそうからイミダクロプリドが0.01ppm検出されましたが、残留農薬の基準値を超えるものはありませんでした。検査項目及び検出限界については表2に示しました。

今回の検査で最も多く検出されたフルフェノクスロンの概要については、5ページの【農薬解説】を参考にしてください。

表1 残留農薬検査結果

(H28年9月～H28年10月)

農産物	産地	検査 検体数	農薬検出 検体数	検出農薬名	検出値 (ppm)	基準値 (ppm)
市内産農産物						
かき	横浜市	1	0			
キャベツ	横浜市	1	0			
こまつな	横浜市	5	2	フルフェノクスロン	0.03	10
				シアゾファミド	0.03	15
				フルフェノクスロン	0.09	10
米	横浜市	3	0			
さつまいも	横浜市	5	0			
さといも	横浜市	2	0			
じゃがいも	横浜市	2	0			
だいこんの根	横浜市	2	0			
なす	横浜市	4	0			
にがうり	横浜市	1	0			
にんじん	横浜市	1	0			
葉だいこん	横浜市	1	1	フルフェノクスロン	0.21	10
ブロッコリー	横浜市	1	1	クロルフェナピル	0.05	3
				シアゾファミド	0.01	1

表1 残留農薬検査結果(続き)

農産物	産地	検査 検体数	農薬検出 検体数	検出農薬名	検出値 (ppm)	基準値 (ppm)
国内産農産物						
キャベツ	群馬県	2	2	プロシミドン	0.02	2
				クロチアニジン	0.01	0.7
				トルクロホスメチル	0.22	2.0
				ボスカリド	0.01	5
きゅうり	群馬県	1	1	クロルフェナピル	0.02	0.5
				プロシミドン	0.02	5
だいこんの根	北海道	1	0			
	青森県	1	0			
	千葉県	1	0			
トマト	岐阜県	1	0			
にんじん	北海道	1	0			
レタス	長野県	1	0			
野菜冷凍食品・冷凍果実						
いちご	ポーランド	1	1	ビフェントリン	0.01	2
ほうれんそう	中国	1	1	イミダクロプリド	0.01	15

表2 農薬の検査項目及び検出限界

農薬名	検出						農薬名	検出					
	限界 (ppm)	A* ¹	B* ¹	C* ¹	D* ¹	E* ¹		限界 (ppm)	A	B	C	D	E
BHC(α,β,γ及びδの和)	0.005	○* ²	○	-* ²	-	-	クロマフェノジド	0.01	-	○	○	○	○
DDT(DDE,DDD,DDTの和* ³)	0.005	○	○	○	○	○	クロリダゾン	0.01	○	○	○	○	○
EPN	0.01	○	○	○	○	○	クロルピリホス	0.01	○	○	○	○	○
アクリナトリン	0.01	○	○	○	○	○	クロルピリホスメチル	0.01	○	○	○	○	○
アザメチホス	0.01	○	○	○	○	○	クロルフェナピル	0.01	○	○	○	○	○
アジンホスメチル	0.01	-	-	-	-	○	クロルフェンゾン	0.01	○	○	○	○	○
アセタミプリド	0.01	○	○	○	○	○	クロルフェンビンホス	0.01	○	○	○	○	○
アゾキシストロピン	0.01	○	○	○	○	○	クロロクスロン	0.01	○	○	○	○	○
アニロホス	0.01	○	○	○	○	-	シアゾファミド	0.01	○	○	○	○	-
イプロバリカルブ	0.01	○	○	○	○	○	シアノフェンホス	0.01	○	○	○	○	○
イプロベンホス	0.01	○	○	○	○	○	シアノホス	0.01	○	○	○	○	○
イミダクロプリド	0.01	○	○	○	○	○	ジウロン	0.01	○	○	○	○	-
インダノファン	0.01	○	○	○	○	-	ジオキサベンゾホス	0.01	○	○	○	○	○
インドキサカルブ	0.01	○	○	○	○	○	ジクロフェンチオン	0.01	○	○	○	○	○
エチオン	0.01	○	○	○	○	○	ジクロラン	0.01	○	-	-	-	-
エトプロホス	0.005	○	○	○	○	○	ジコホール	0.01	○	○	○	○	○
エトリムホス	0.01	○	○	○	○	○	シハロトリン	0.01	○	○	○	○	○
エポキシコナゾール	0.01	-	-	-	○	-	ジフェノコナゾール	0.01	○	○	○	-	○
エンドスルファン(α及びβの和)	0.005	○	-	○	-	-	シフルトリン	0.01	○	-	○	○	○
エンドリン	0.005	○	-	○	-	○	シフルフェナミド	0.01	○	○	○	-	○
オキサジクロメホン	0.01	○	-	-	-	-	シペルメトリン	0.01	-	-	○	○	○
オキサミル	0.01	○	○	○	○	○	ジメチリモール	0.01	○	-	-	○	○
オキシカルボキシ	0.01	○	○	○	○	○	ジメトモルフ	0.01	○	○	○	○	-
オリザリン	0.01	-	-	○	○	○	スルプロホス	0.01	-	○	○	○	○
カズサホス	0.01	○	○	○	○	○	ダイアジノン	0.01	○	○	○	○	○
カフェンストロール	0.01	-	○	○	○	○	ダイムロン	0.01	○	○	○	○	○
カルバリル	0.01	○	○	○	○	○	チアクロプリド	0.01	○	○	○	○	○
カルプロパミド	0.01	○	○	○	○	-	チアメトキサム	0.01	○	○	-	○	○
クミルロン	0.01	○	○	○	○	○	テトラクロルビンホス	0.01	○	○	○	○	○
クロキントセット-メキシル	0.01	○	○	○	○	○	テトラジホソ	0.01	○	○	○	○	-
クロチアニジン	0.01	○	○	○	○	-	テブチウロン	0.01	○	○	○	○	-

表2 農薬の検査項目及び検出限界(続き)

農薬名	検出 限界 (ppm)	A	B	C	D	E	農薬名	検出 限界 (ppm)	A	B	C	D	E
テブフェノジド	0.01	○	○	○	○	○	ブタミホス	0.01	○	○	○	○	○
テフルトリン	0.01	○	○	○	○	○	ブラメピル	0.01	○	○	○	○	-
トラルコキシジム	0.01	○	○	○	○	○	フルシトリネート	0.01	○	-	○	○	-
トリチコナゾール	0.01	-	○	○	○	-	フルバリネート	0.01	○	-	○	○	○
トリフルムロン	0.01	○	○	○	○	○	フルフェナセット	0.01	○	○	○	○	-
トルクロホスメチル	0.01	○	○	○	○	○	フルフェノクスロン	0.01	○	○	○	○	○
ノバルロン	0.01	○	-	○	○	○	フルリドン	0.01	○	○	○	○	○
パラチオン	0.01	○	○	○	○	○	プロシミドン	0.01	○	○	○	○	○
パラチオンメチル	0.01	○	○	○	○	○	プロチオホス	0.01	○	○	○	○	○
ハルフェンプロックス	0.01	○	-	-	-	-	プロピザミド	0.01	○	-	○	○	○
ビフェントリン	0.01	○	○	○	○	○	ブromoプロピレート	0.01	○	-	-	-	-
ピラクロストロビン	0.01	-	○	-	-	-	ヘキサフルムロン	0.01	-	○	-	-	-
ピラゾリネート	0.01	○	-	-	○	○	ヘキシチアゾクス	0.01	○	-	-	-	-
ピリフタリド	0.01	○	○	○	○	○	ヘプタクロル(エポキシドを含む)	0.005	-	○	-	-	-
ピリミカーブ	0.01	○	○	○	○	○	ペルメトリン	0.01	○	○	○	○	○
ピリミホスメチル	0.01	○	○	○	○	○	ペンシクロン	0.01	○	○	○	○	○
ファモキサドン	0.01	○	○	○	○	○	ベンゾフェナップ	0.01	○	○	○	○	○
フェニトロチオン	0.01	○	○	○	○	○	ベンダイオカルブ	0.01	○	○	○	○	○
フェノキシカルブ	0.01	○	○	○	○	○	ペントキサゾン	0.01	○	○	-	-	-
フェノブカルブ	0.01	○	○	○	○	○	ボスカリド	0.01	-	○	○	-	○
フェリムゾン	0.01	-	○	-	-	-	ホスチアゼート	0.01	○	○	○	○	-
フェンアミドン	0.01	○	○	○	○	-	マラチオン	0.01	○	○	○	○	○
フェンクロルホス	0.01	○	○	○	○	○	メタベンズチアズロン	0.01	○	○	○	○	○
フェンスルホチオン	0.01	○	○	○	○	○	メキシフェノジド	0.01	○	○	○	○	○
フェントエート	0.01	○	○	○	○	○	メビンホス	0.01	○	○	○	○	○
フェントラザミド	0.01	○	○	○	○	-	モノリニューロン	0.01	○	○	○	○	-
フェンバレレート	0.01	○	-	○	○	-	ラクトフェン	0.01	○	○	○	-	○
フェンピロキシメート	0.01	○	-	○	○	○	リニューロン	0.01	○	○	○	○	○
フェンプロバトリン	0.01	○	-	○	○	○	リンデン(γ -BHC)	0.002	○	○	○	○	-
ブタフェナシル	0.01	○	○	○	○	○	ルフェヌロン	0.01	-	-	○	○	○

*1 A:米 B:こまつな、トマト、にんじん、葉だいこん、ブロッコリー、ほうれんそう

C:キャベツ、きゅうり、だいこんの根、なす、にがうり、レタス D:さつまいも、さといも、じゃがいも

E:いちご、かき

*2 ○:実施、-:実施せず

*3 DDTは p,p' -DDE、 p,p' -DDD、 o,p' -DDT及び p,p' -DDTの和

【農薬解説】

○フルフェノクスロン

『カスケード』などの商品名で販売されている殺虫剤で、幼虫の脱皮を阻害します。チョウ目害虫、ハダニ類、ヨコバイ、アザミウマ類の幼虫に対して高い防除効果を示し、効果は長期間持続します。今年度実施した検査において、ほうれんそう(市内産)からも検出されました。

※参考文献

・一般社団法人日本植物防疫協会、農薬ハンドブック2016年版